

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	Innocent kid’s 初倉ルーム			
○保護者評価実施期間	2026年 6月 8日 ～ 2026年 6月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年 6月 1日 ～ 2026年 6月 18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①目的に合った部屋が各々備えられている ②室内はカラフルで明るい雰囲気である ③視覚的な情報を提示している	①子どもたちが理解しやすいよう、壁の色を変えることでエリア分けをしている ②子どもたちがワクワクするような、カラフルな壁紙や室内遊具を揃えている ③発語のない児童でもツールを使ってルールが理解できたり、使いたいおもちゃを伝えることができるようにしている	①静養室に関しては利用がかち合ってしまうことがあるため、カーテンや衝立などを使用をしていく ②おもちゃや遊具などは子どもの興味を探りながら、必要な物を用意していく ③時間を意識できるよう、タイムタイマーや砂時計、キッチンタイマーなども上手に活用していく
2	①毎回課題の提供を行っている ②多くの活動を提供している	①高等部卒業後を見据え、個々にあった課題（作業）の提供を行っている ②平日は手先を使う工作やリズム感を養うための音楽療育、長期休暇中はお出かけや買い物、外食体験などを通し、QOLや生活能力向上のための活動を提供している	①SSTのプリントなどが苦手な児童に対しては、お友達と協力してクリアできる遊びなどを通し、お友達への興味や意識が持てるよう支援していく ②子どもたちの興味を探りながら、また楽しみながら学べる活動を模索していく
3	①広い敷地を有している ②他事業所に比べ、男性職員が多い ③職員全員が全ての子どもと関わっている	①屋外用の大型トランポリンや、夏是水遊びの提供ができている ②サッカーやキャッチボール、体を使った遊びが提供できている ③子どもの変化を保護者と共有し、現在の状態や対応の仕方などを職員全員が把握できるよう伝達している	①事故なく安全に遊べるよう、熱中症等の研修や水分補給をこまめに行っていく ②学校お迎え時に先生からの引継ぎを受けるとともに、他事業所や学童の職員とも連携していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	①トイレが1つしかなく男女共用である ②トイレのバリアフリー化がされていない ③静養室を設けているが、使用したい児童がかち合うことがある	①②賃貸物件のため、トイレの増設や改修は難しい ③パニック時や体調不良時は静養室を使用してもらっているが、着替えやオムツ交換とかち合うことがある	①早目のトイレ誘導を行っている。また、トイレの順番待ちができた際は、2階（現在は物置や書庫として利用）のトイレを使用している ③カーテンなどでエリア分けできるような工夫が必要
2	①雇用形態や資格の有無、経験などに差があるため、職員が制度や現状を理解できていないことがある ②保護者と連絡ノートでのやりとりができていない	①資格の有無や経験による差があるため、制度や報酬改定についての周知がされていない（または説明しても職員が理解できない場合がある） ②手厚い支援を重視している為、、連絡ノートを読んでいる時間がなかなかとれない	①制度についての研修も行っていく ②連絡事項がある場合は、事前に事務所か職員の会社用携帯に連絡またはメールをいただく
3	①きょうだいへの支援や、地域の方を招いた交流会等はない	①きょうだい支援については、まず職員への研修が必要である ①学校が近くにないため、小中学生を見かけることが少ない ①支援が必要な子どもたちについて、地域の方にどのように理解していただくかが難しい	①利用児のきょうだいや地域の方が参加できるようなイベントを検討していく